

地域活動 レポート

令和8年2月

No.59

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■正月遊びでつながる地域と子どもたち（1月10日）

大隅西地域で、子ども向けの企画「昔遊びをたのしもう！」が開催されました。小学校の講堂を会場に、こままわしや羽根つきといった正月遊びを体験できるイベントです。当日は十数名の子どもが参加しました。

こままわしや羽根つきを初めて体験する子どもも多く、経験のある子どもや保護者に教えてもらいながら、少しずつ上達していく様子が見られました。最初は全くこまを回せなかった子どもが、スタッフの指導や友達の励ましを受けて何度も挑戦し、最後には見事に回せるようになる場面もありました。



珍しい昔遊びを楽しく体験できるだけでなく、子どもたちが互いに教え合い、励まされながら、あきらめずに挑戦することで「できた」という成功体験につながっている点が印象的でした。

また、イベントの最後には参加者アンケートが実施されていました。イベント当日は準備や運営、撤収に追われがちですが、参加者の声を忘れずに集めることで、活動の記録として残すだけでなく、今後の企画づくりに活かすことができます。

■女性×大桐地区の防災考え隊『大桐地区の防災を考える会』を開催（1月17日）

阪神・淡路大震災から31年目のこの日、大桐地域で「大桐地区の防災を考える会」が開催されました。老若男女多くの方が会場に集まりました。

まず「一部」は、阪神・淡路大震災当日の振り返りでした。

新人看護師だった考え隊のメンバーの一人が、震災当日の病院勤務の話をしてくれました。ニュースなどでは知ることができない現場のリアルが語られ、胸に迫るものがありました。

「二部」では、元東淀川区長の金谷一郎さんによる講演でした。

金谷さんのお話は、南海トラフ地震や東淀

川区が震源となり得る上町断層の直下型地震

や、最近気になる

線状降水帯などに

よる大雨がもたら

す内水氾濫の被害

想定、また常日頃

からの近隣の皆さ

んとの関わりにつ

いてなど、普段な

かなか聞けない話

がてんこ盛りで、

学びの多い一日で

した。

参加者さんから

は、「非常用持ち

出し袋や防災ポ一

チには、どんなも

のを入れたらいい

のか」などの質問

がありました。

今後も、無理な

くゆつくりとした

ペースで、活動を

継続されるそう

